

「2017年 香港中文大学サマープログラム（中国語コース）参加報告書」

京都大学 農学研究科 修士1年 巽 鮎子

① 学部1年の頃に第二外国語として授業を受けていた中国語ですが、その後は自宅で学習するようにしていました。しかし、毎日続けることが難しく、独学ではなかなか上達することができませんでした。しかし、今回の留学では、3週間という短期間でも自分の成長を感じることができました。語学の授業は、基本的に中国語を使って進められ、自分の実力よりも少しレベルの高いクラスであると感じました。はじめは授業についていくことが大変だったので、予習・復習をしっかりと行うようにし、授業中はよく発音して、積極的に授業に参加しました。その結果、単語や文法が頭に入り、先生の話すことがよく分かるようになっていったため、大きな壁を一つ乗り越えたように感じられました。今までは独学で中国語を学んでいこうとしていましたが、授業に参加することで聞く力・話す力を伸ばしていけると思うようになったので、後期からは再び語学の授業を履修しようと考えています。また、今回のプログラムにおいて、様々な国から来た仲間とともに中国語を学びましたが、日本よりも積極的に発言をする学生が多いことに刺激を受け、私もそれを見習うようにして、語学の授業や自身の専門の授業に参加できればと思っています。

② 留学先の大学の寮は二人部屋で、オランダ出身のルームメイトと英語を使ってコミュニケーションをとり、3週間一緒に過ごしたことが良い経験となりました。私は英語があまり得意でなく、はじめはルームメイトと過ごしていくことに不安を感じていましたが、仲良くなりたいというおもいで、よく話をするように心がけました。私の拙い英語にも耳を傾けてくれ、とても優しく接してくれたおかげで、英語での会話にも抵抗感がなくなっていき、楽しく過ごすことができました。この経験によって、語学力に自信がなくても、積極的に会話をし、海外の人との交流を大切にしたいと思うようになりました。

③ 平日は、午前中に2時間45分、午後に1時間45分の中国語の授業があり、適宜休憩時間を設けてくれました。お昼休みは2時間ほどあり、食堂でご飯を食べたり、電車に乗って近くのショッピングモールに行ったりすることができました。16時15分には授業が終わり、放課後は観光する時間に充てることができました。土曜日はマカオや深センに日帰り旅行をする計画が立てられており、現地の学生がTAとして引率してくれました。TAの方々が一緒にいるので安心して観光を楽しむことができました。日曜日は自由に過ごすことができ、ゆっくりと美味しいものを食べに出かけたり、テーマパークに行ったりして、たくさんの思い出を作れました。

④ 自分の将来を考えた時、海外に行き、様々な国の人々に関わる仕事ができればよいと、より強く思うようになりました。その理由として、異なる文化的背景をもつ人々との交流は楽しく、学ぶことが多いと、今回のプログラムを通して感じたためです。日本のよさも世界に発信できればと思うので、他の国々のことだけでなく、日本についての理解も学生時代に深めておきたいです。